

令和8年度 七尾市立東湊小学校 学校だより 令和8年5月8日



# 東湊っ子 No.2

TEL: 52-3149 FAX: 52-1200

E-mail: minatosho@edu.city.nanao.ishikawa.jp 文責: 基村

## 前期児童会役員・委員長の紹介

4月13日(月)、令和8年度前期児童会役員・委員長の任命式を行いました。新たに選ばれた児童たちは、任命証を受け取った後、一人一人が全校児童に向けて力強くあいさつをしました。

「どのような学校にしていきたいか」「委員会活動でどんなことに力を入れていくか」「そのためにどのように取り組むか」など、自分の言葉で思いを語る姿からは、東湊小のリーダーとしての自覚と責任感が感じられました。

どの児童の言葉にも、「東湊小をもっとよい学校にしたい」という前向きな気持ちがあふれており、まさに本校の教育目標である「自ら考え自ら動く東湊っ子」の姿そのものでした。

そして、今年度の児童会目標は、子どもたち自身の話し合いによって「仲良く、笑顔あふれる学校」と決定しました。この目標には、東湊小学校のよさを活かしながら、自分たちの学校を自分たちの力でさらによりよくしていきたいという強い意志が込められているように思いました。

これから、児童会役員・委員長を中心に、全校児童が互いに支え合いながら、よりよい学校づくりに主体的に取り組んでくれることを期待しています。



### ◆前期児童会役員

|       |          |
|-------|----------|
| 会 長   | 6年 高橋 絆琉 |
| 副 会 長 | 6年 小山 未来 |
| 書 記   | 6年 笠谷奈那恵 |
| 書 記   | 6年 山本 幸奈 |

### ◆専門委員会 委員長

|       |          |
|-------|----------|
| 環境・掲示 | 6年 川口 双葉 |
| 保健・給食 | 6年 白石 華奈 |
| 体 育   | 6年 堀 愛海  |
| 放 送   | 6年 茅崎 晃希 |
| 図 書   | 6年 飯山 陽仁 |

Let's call.

～親と子のなんでも電話相談室～

**オアシスライン**

対象:小中学生及び保護者(匿名の電話で構いません。秘密は守ります)



電話 (0767)52-0783

受付 13:00~16:00

(月曜～金曜)

## 令和8年度の学校研究

東湊小学校の今年度の学校研究における研究主題は、「自ら学びに向かい、課題を解決しようとする児童の育成」です。

具体的には、授業の中で、児童自ら学びを進める場面(ぐんぐんタイム)を意図的に設定していきます。

昨年度は授業者(教師)が、ぐんぐんタイムで個々の児童の学習の様子を見取りながら、どのように児童をアシストしていくかを中心に研究を進めてきました。

今年度は、これをさらに一歩進め、学習者自身(児童)が「自ら学びに向かい、課題解決のために学びを自己決定する力(自己調整力)」を高めていくことを重点として取り組んでいきます。児童は、ただ何となく学習を進めていくのではなく、学習の見通しや根拠をもって「課題」や「学び方」を自己決定したり、学びを自覚化するための「ふり返し」をしたりしていくことをめざします。そのためにどのような支援・手立てが有効あるかを追究しながら主題に迫っていきます。

### ○研究主題

自ら学びに向かい、課題を解決しようとする児童の育成  
～自己調整学習のサイクル活性化を通して～

### ○育成を目指す資質・能力

自己調整能力＝自ら学びに向かい、課題解決のために学びを自己決定する力

### ○めざす児童の姿

自ら学びに向かい、課題解決のために自己調整能力を働かせる児童

## 青柏祭・でか山教室(4年生)

4月21日(火)、大地主神社で「青柏祭の曳山行事」について学ぶ「でか山教室」がありました。山王小学校(4年生)、天神山小学校(5年生)との3校合同行事です。

はじめに、大地主神社の大森重宜宮司や鍛冶町でか山保存会のメンバーから、祭りの歴史やでか山の構造や動かし方についての説明がありました。「青柏祭は1000年以上の歴史があること」「でか山の高さは12mで重さは20tにもなり、準備に2ヶ月ほどかかること」などの話を聞き、児童は時折驚きの声をあげながら、熱心にメモを取っていました。

その後、でか山の下にもぐって中の様子を間近で見たり、大梃子や止梃子など、実際に祭で使われる道具に触れたりすることができました。綱を引っ張る体験では「エンヤー」と大きな声を響かせていました。5月の祭り本番を前に、児童は楽しみを一層募らせている様子でした。

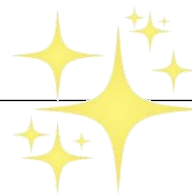


## たてわり元気遠足に行ってきました

4月28日(火)に、たてわり班グループに分かれて春の遠足に行ってきました。行き先は、恒例の希望の丘公園です。前日までの雨が上がり、当日は気温も上がりすぎることもなく、行楽日和の過ごしやすい一日となりました。低学年児童にとって、希望の丘公園までの道のりは、決して短い距離ではありませんが、同じたてわり班グループの中・高学年児童がしっかりと励ましの声掛けなどでサポートしてくれました。希望の丘公園到着後も、たてわり班リーダーの6年生のもと、学年を越えて楽しく協力して活動することができました。新年度が始まって1ヶ月、子どもたちは新しい学年に進級して、何事も意欲的に頑張ってきましたが、この日も、お互いに協力しながら、仲良く、笑顔あふれる「たてわり元気遠足」となりました。



## 東湊っ子の活躍



### ◆七尾みなとロータリークラブ杯 第6回U11 バasketボール中島大会 (3/29)

☆【第3位】七尾ブルドッグ(女子の部)

井坂心桜(5年) 黒土陽菜(5年) 新出彩葉(5年)

小池彩結愛(4年) 井坂和花(2年) 尾橋 凜夏(2年)

### ◆第4回加賀市協会長杯小学生バレーボール交流大会 (3/29)

☆【第1位】小丸山バレーボールクラブ

伊豆崇志(5年) 伊豆徳葵(5年) 谷中航(5年) 谷中岳(2年)

### ◆NPO 法人日本中国朱鷺保護協会表彰 (3/29)

☆【ニッポニアニッポン賞】

石崎ちなみ(5年)

## 安全に気をつけよう

新緑の季節を迎え、子どもたちの表情にも、外で思いきり遊べることへの喜びがあふれています。休み時間になると、校庭へ向かう足取りが自然と速くなる姿もよく見られます。元気いっぱい過ごすことはとても大切ですが、その一方で、校内の安全について改めて考える必要があります。今月の生活目標である「安全に気をつけよう」は、まさにその第一歩です。

本校は全校児童144人、3階建ての校舎には、緩やかに曲がったアーチ状の廊下があります。見通しがよい場所もあれば、曲がり角で相手の姿が見えにくい場所もあります。そして児童の中には、休み時間に早く遊びたい気持ちや、急ぎの用事があるときに、つい廊下を走ってしまう姿も時折見られます。職員が声をかけると素直に立ち止まるものの、時間がたつとまた走ってしまう、そんな場面が繰り返されています。

「友達を怪我させようと思って走る人はいない」これは、私たちが子どもたちに伝えたい大切なメッセージです。しかし、悪気がなくても、廊下を走ることによって大きな事故につながる可能性があります。実際に、走ってきた児童同士がぶつかりそうになったり、曲がり角で急に人と出会って驚いたりする“ヒヤリ”とする場面が起きています。もしこれが本当にぶつかってしまったら…。転んで頭を打つ、相手を押し倒してしまう、骨折につながる。そうした重大な怪我が起こる可能性は決してゼロではありません。

そして怪我によってつらい思いをするのは本人だけではなく、相手の友達、その家族、そして自分の家族。たくさんの方が悲しい思いをすることになります。「走らない」という小さな行動が、実は多くの方の笑顔を守ることに繋がっています。

学校では、廊下を歩いて通行することの大切さを、これからも繰り返し指導していきます。しかし、子どもたちの行動が本当に身につくためには、学校と家庭が同じ方向を向いて声をかけていくことが欠かせません。

保護者の皆様には、ぜひご家庭でも「廊下は歩く場所だよ」「急いでいても走らないでね」といった声かけをしていただければと思います。日常の中で繰り返し耳にする言葉は、子どもたちの行動を確実に変えていきます。

5月は、新しい学年の生活にも慣れ、気持ちが緩みやすい時期でもあります。だからこそ、今一度「安全に気をつける」という基本を見直すよい機会です。学校と家庭が協力し、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくっていきたくと考えています。

どうぞ引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

